広報 かるまい 2

平成27年（2015年） No.671

今月の主な内容

■山本町政４期目がスタート …２～３
■町民意識調査 ……４～５
■町職員の給与を公表 ……６～７
■消防団出初式 ……10

軽米町長選挙で山本賢一氏が再選

山本町政４期目がスタート

工藤委員長から当選証書を手渡される山本町長（左）

任期満了に伴う町長選挙（1月13日告示）が1月18日に町内24投票所で行われ、現職の山本賢一（けんいち）氏（向川原、60歳）＝無所属＝が4選を果たしました。

1月20日には、町役場で工藤育子（いくこ）町選挙管理委員会委員長から山本氏に当選証書が付与されました。任期は、平成27年2月2日から31年2月1日までの4年間です。

同選挙には、山本氏と元町議会議員の安藤長質氏（牛ケ沢、62歳）＝同＝、元会社員の竹花弘二氏（元屋町、62歳）＝同＝の3人が立候補。選挙当日は午前7時から午後6時まで投票が行われ、同日午後7時30分から町農村環境改善センターで開票が行われました。投票率は75・30％（男74・33％、女76・23％）。前回平成23年の75・11％を0・19ポイント上回りました。1月14日から町農村環境改善センターで行われた期日前投票には、4日間で1615人が訪れました。

町長選挙開票結果

	候補者氏名	得票数
当選	**山本　賢一**	**3,451**
	安藤　長質	459
	竹花　弘二	2,448

（届出順）

有権者数・投票者数

■有権者数　8，475人
（男 4,137 人、女 4,338 人）

■投票者総数　6，382人
（男 3,075 人、女 3,307 人）
有効投票　6,358 票
無　　効　24 票

町内24投票所の投票率（全体投票率75.30％　男74.33％　女76.23％）

投票所番号	投票所名（略称）	投票率	投票所番号	投票所名（略称）	投票率
第1	小軽米	75.62％	第13	増子内	73.17％
第2	松ノ脇	75.98％	第14	長倉	82.89％
第3	小玉川	76.60％	第15	下尾田	77.24％
第4	米田	68.79％	第16	軽米中央公民館	77.29％
第5	牛ケ沢	70.73％	第17	山田	81.82％
第6	円子	74.87％	第18	晴山	73.21％
第7	上円子	79.59％	第19	野場	79.04％
第8	大沢	78.08％	第20	観音林	69.81％
第9	軽米保育園	76.51％	第21	山内	68.77％
第10	笹渡	77.96％	第22	大清水	75.68％
第11	上舘	73.71％	第23	竹谷袋	79.66％
第12	高家	78.44％	第24	東	96.67％

期日前投票者数　1，615人（男 731 人、女 884 人）※投票者総数の 25.31％

投開票結果などに関する問い合わせは
町選挙管理委員会事務局
（☎46-2111）

１００人委員会の設置、多目的複合文化施設建設で生活のさらなる充実を

【山本賢一氏の略歴】

岩手大学農学部卒業。旧軽米町農協から、旧二戸地方農業共済組合を経て、平成10年岩手北部農業共済組合二戸家畜診療所長に就任。平成15年に軽米町長初当選。向川原行政区。60歳。

町長 7つの約束

１００人委員会の設置により、町民参加の結の精神を基本に、次の7つの項目を大きな柱としてまちづくりを進めます。

①農林畜産業の活性化推進

町の基幹産業である農業の6次産業化の推進（地域食材を活用した新たな調理等による付加価値化・ブランド化を図る）、公共遊休施設（空き校舎）等を活用した植物工場や、地域の特性を活かした食産業に係る企業誘致の推進、畜産団地の建設により、農林畜産業の活性化推進を目指します。

②保健医療福祉、少子化対策の推進

今年の4月から晴山地区に常設保育園が開園するほか、今後は、18歳まで医療費の無料化の実現、幼稚園・保育園の保育料無料化をめざし、子どもを町の将来を担う人材として安心して育てられるまちづくりに努めます。また、若者定住促進住宅の設置や学童クラブ施設の新設、軽米町多目的複合文化施設（子どもから高齢者まで町民誰もが楽しく快適に利用できるコミュニティセンター）の建設など、子育て世代の暮らしやすいまちづくりを進めます。

③高齢者福祉の充実

前段でも触れた軽米町多目的複合文化施設に加えて、高齢者医療費の負担軽減、散歩コースの整備などによる歩け歩け運動の推進を図り、高齢者の方もいきいきと暮らすまちづくりに努めます。

④資源を活かした事業の推進、雇用拡大

既に着工している鶏糞を利用したバイオマス発電所をはじめ、大規模太陽光発電所（メガソーラー）、風力発電所など、最大出力が700メガワットを超える再生可能エネルギー施設の導入計画を形にし、エネルギー自給率の向上や地域活性化を推進していきます。また、これら再生可能エネルギー事業を含めた誘致企業、内発型企業のさらなる育成、植物工場などの食産業、福祉関連企業や光ファイバーの有効活用対策としても期待される廃校・空き家等を活用したIT企業の誘致により、100人規模の雇用創出と町民所得20％アップの実現をめざします。

⑤交流・観光・商店街・地域の活性化

共通商品券の拡大支援による中心商店街の活性化や、花の町軽米としてのチューリップ・芝桜・あじさいの整備による観光客の拡大、雑穀サミットの開催による交流人口の拡大を図ります。また、地域活動支援補助金の助成充実などにより、地域活動のさらなる活性化を進めます。

⑥多様な交流が生まれるまちづくり

農業構造改善センター、生活改善センターの計画的な改築などの施設整備のほか、町民バス・コミュニティバス・デマンド型タクシー等公共交通対策のさらなる充実を図り、皆様の生活を豊かに、より快適に暮らせるまちづくりに努めます。

⑦行政改革

行政改革として、町長報酬を10％削減します。

住みよいまちづくりに皆さんの声を
～町民の意向を調査～

町では平成26年10月、町民意識調査を実施しました。「かるまいテレビについて」と「災害対策について」をテーマに、調査は町内に在住する500人を対象に町統計調査員を通じて実施。そのうち453件の有効回答をいただきました。調査結果の概要をお知らせします。

「かるまいテレビ」

【問】普段テレビを見ている時間帯は？

①6～8時　24・3％
②9～11時　4・8％
③12～14時　13・6％
④15～17時　4・9％
⑤18～20時　32・1％
⑥21～23時　20・3％

〈概要〉
仕事から帰宅してから就寝までの時間帯にテレビを視聴する割合が高い。回答者の年代が上がるにつれ、③の時間帯も視聴が増えるが、②、④の時間帯はどの年代でも数字は低くなっている。

【問】あなたはかるまいテレビを視聴していますか？

①視聴している　47・8％
②視聴していない　52・2％

〈概要〉
30代では、視聴している人としていない人がおよそ半々。70代では、視聴している人数がしていない人を2倍上回っていた。しかし、それ以外の年代では視聴していない人の数が上回り、全体としては、視聴している人よりしていない人のほうが多い結果となった。

【問】かるまいテレビを『視聴していない』理由は？

①見る機会がない　51・3％
②内容に興味がない　20・1％
③その他　21・6％

〈概要〉
その他の意見には、配線工事を行っていないなど、かるまいテレビを視聴できる環境にしていないという回答がもっとも多く、次いでテレビそのものを見ない、放送時間が事前にわからないから見ない、という意見が挙げられた。

【問】かるまいテレビへの自由意見

・主に夜間がテレビを見る時間帯だが、ほとんど文字放送で見る興味がない。夜間の放送の充実が必要。
・毎週更新される「かるまいJOURNAL」をいつも楽しく見ている。
・お盆やお正月等、親戚が集まるときなどに、秋祭りや運動会など子どもたちが多く出るイベントを多めに放送してほしい。
・お知らせについてはデータ放送とし、イベントや議会などを多く放送してほしい。
・放送した番組やJOURNALをDVDで販売してほしい。
・番組の更新をもう少し早くしてほしい。
・放送のマンネリ化が気になる。国体に向けてのダンスのお手本番組があれば子どもたちも喜んでみるのではないか。
・町内の情報がよくわかりよいと思う。見知った人が登場するのも身近なテレビという感じがしてよい。
・知りたいときに知りたい分野の情報をピンポイントで押さえられるようになるとよい。
・楽しく見ているが、自分が映るのは嫌。テレビに映りたくないので行事に参加できない。
・町民が出演するクイズ番組やカラオケ番組など、娯楽的な番組を制作してみてはどうか？
・仕事の都合でテレビ視聴は朝夕のみで、ニュース等が主。結局『かるまいテレビ』を見る時間的余裕はない。
・撮影される人のプライバシーへの配慮。
・除雪の路線順や時間帯など、大まかにでも放送してほしい。

調査対象者
町内在住者500人（住民基本台帳から層化抽出法により選定）
調査方法
町統計調査員による訪問留め置き調査
調査日：平成26年10月15日
有効回収数：453件　有効回収率：90.6％
回答者内訳
男性239人　女性204人　無回答10人
20～29歳(31人)　30～39歳(49人)
40～49歳(60人)　50～59歳(102人)
60～69歳(127人)　70歳以上(81人)
無回答(3人)

「災害対策」

【問】あなたが不安に思う災害はどのような災害ですか？

①地震災害　46・1％
②土砂災害　17・4％
③風水害　33・3％
④その他　3・2％

〈概要〉
平成23年の東日本大震災や、平成11年の豪雨災害の印象が強いためか、地震災害と風水害への不安を感じる人が多かった。その他の意見には、火災、雪害、災害に伴う停電などが挙げられた。

【問】あなたは普段から災害対策に取り組んでいますか？

①取り組んでいる　49・8％
②取り組んでいない　50・2％

〈概要〉
先の問いで地震や風水害など各種災害に不安を感じているという回答を得たが、普段からの災害対策取り組んでいるかという問いでは、取り組んでいないと回答する人がわずかに多い結果となった。

【問】あなたの地域で自主防災組織は組織されていますか？

①組織されている　6・0％
②組織されていない　27・1％
③わからない　66・3％
④その他　0・5％

〈概要〉
組織されていると回答した人は6・0％と少数であるが、組織されていないという回答よりも、組織されているかどうかがわからないという回答が66・3％と最も高い数字を示した。実際には自主防災組織が組織されている地域に住んでいる人にも、そのことが知られていないという可能性もあり得る。

【問】自主防災組織結成を実現するためにどのようなことが必要だと思いますか？

①他市町村の事例紹介などの情報提供、啓蒙活動　37・8％
②研修会や講習会の開催　17・7％
③組織結成への人的支援　22・1％
④組織結成への資金的支援　20・5％
⑤その他　1・8％

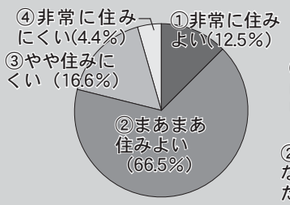
〈概要〉
複数回答としたこの問いに対しては、多くの意見が寄せられたが、最も多かったのは他市町村の事例紹介などの情報提供、啓蒙活動となった。その他を除く②から④のいずれよりも高くなったことに、組織結成に向けて実際動き出す前に、自主防災組織というものやその役割について認識を深めることが優先だという意識が表れている。

【問】災害対策についての自由意見

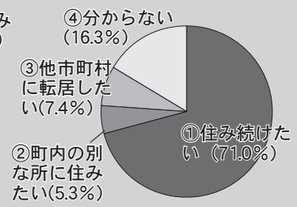
・防災マップ等を全戸配布してほしい。
・公民館などに発電機を設置し、携帯電話の充電ができるようにしてほしい。
・結果的に誤報でも、逃げ遅れるよりはいいので、避難勧告などは早めの判断をしてほしい。
・地域の災害訓練があると安心。
・各行政区ごとに、役場で講習会を行ってほしい。
・かるまいテレビで、各地区ごとの危険箇所を知らせてほしい。
・町で一番情報収集能力がある行政の役割は重大である。
・高齢者だけの町内会でも早めの対応をみんなで考えるべきだと思う。

定例調査分

【問】軽米町はあなたにとって住みよいところですか？



【問】現在住んでいる所に住み続けたいですか？



【問】町で特に力を入れてほしい施策は？（複数回答）

1位　除排雪の充実（15.4%）	4位　老人福祉（9.8%）
2位　産業振興、雇用確保(12.9%)	5位　道路の整備（6.9%）
3位　保健・医療（12.6%）	6位　子育て支援（6.1%）

今後のまちづくりに向けた提案など

・除雪にもっと力を入れてほしい。
・子育ては子どもが中学生・高校生の時に一番費用がかかる。将来的には、出産時・幼児期への支援を中高生家庭へ移行してほしい。
・訪問リハビリテーションを実施してほしい。
・可燃ごみの収集日を中心部と同じ週2回に増やしてほしい。
・役場職員の来庁者への対応が悪い。
・空き家を町外の若い人に安い家賃で貸して定住してもらうようにしてはどうか？
・旧晴高小学校への古着の搬入日は休日にしてほしい。
・町議会議員定数削減の早期実施。
・町内に職場がないと、仕事先で買い物をしてくるので、町の商店のものが売れない。

■町民意識調査の詳しい結果については、役場1階の町民ホールにて公表しています。

町職員の給与を公表

町の福祉や保健、教育、道路の維持管理、産業振興などさまざまな分野の業務を行う町役場には、137人の職員（平成26年4月1日現在で特別職を除く）が従事し、その給与は町の条例・規則で決められ支給されています。今回は、平成26年4月1日現在の状況についてお知らせします。

●平成25年度ラスパイレス指数

97.6%

県内33市町村中32番目
（県内市町村平均103.0%）

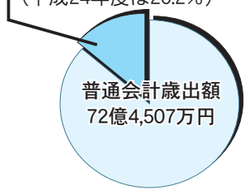
■参考値：90.2%

※参考値は国家公務員の時限的な（2年間）減額措置がないとした場合の値

ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の軽米町の水準を表します。
100より大きいと国より給与水準が高く、逆に小さいと低いことになります。

●人件費（平成25年度普通会計決算）

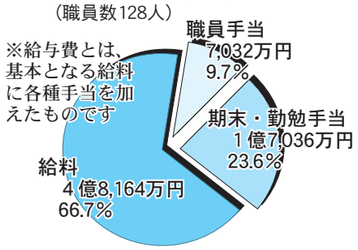
11億2,741万円
普通会計歳出総額の15.6%
（平成24年度は20.2%）



●職員給与費の内訳

（平成26年度一般会計当初予算）
・給与費総額　7億2,232万円
・職員1人あたりの給与費564万円
（職員数128人）

※給与費とは、基本となる給料に各種手当を加えたものです



●一般行政職員の平均給料月額及び平均年齢（H26.4.1現在）

	平均給料月額	平均年齢
軽米町	308,100 円	43.8 歳
国	335,000 円	43.5 歳
岩手県	332,900 円	43.9 歳

●職種別・学歴別初任給及び経験年数別平均給料月額（H26.4.1現在）

		初任給	経験10年	経験15年	経験20年
一般行政職	大学卒	172,200円	254,200円	300,800円	329,500円
	高校卒	140,100円	229,300円	267,700円	304,200円
労務職	高校卒	137,200円	203,600円	236,200円	262,500円

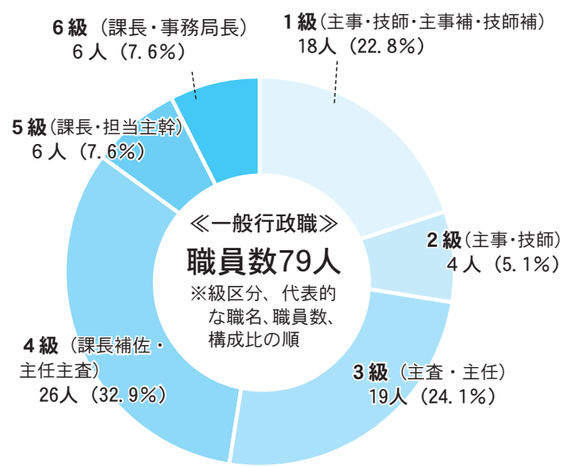
【問い合わせ先】
総務課・総務グループ
（☎46－2111）

●部門別職員数（各年とも4月1日現在）

区分 部門		職員数 H25	H26	増減	主な増減理由
一般行政	議会	3	3	0	
	総務	26	24	△2	派遣職員の減（△1）総務業務の見直し(△1)
	税務	7	9	2	税務業務の見直し(2)
	民生	38	38	0	
	衛生	9	7	△2	衛生業務の見直し（△1）、清掃業務の見直し（△1）
	農林水産	9	9	0	
	商工	3	3	0	
	土木	8	8	0	
	小計	103	101	△2	
特別行政	教育	20	20	0	
	小計	20	20	0	
普通会計 計		123	121	△2	
公営企業等会計	水道	4	4	0	
	その他	12	12	0	
	小計	16	16	0	
合計		139	137	△2	

（注）職員数は一般職。地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時又は非常勤職員を除く。

●一般行政職の級別職員数の内訳（H26.4.1現在）



●特別職の報酬等（H26.4.1現在）

区分	報酬等月額	期末手当
町長	628,000円	6月期 1.40月分
副町長	522,000円	12月期 1.55月分
教育長	512,000円	合計 2.95月分
議長	262,000円	
副議長	219,000円	
議員	195,000円	

●職員研修の実施状況（平成25年度）

	受講者数	主な研修内容
職場内研修	55人	人材育成研修など
派遣研修	90人	町村会、県外での専門研修

●勤務条件などの状況（平成25年度）

◇勤務時間

週40時間、1日8時間（午前8時30分から午後5時30分まで、休憩時間を除く）

◇年次有給休暇の取得状況（H25.1.1～H25.12.31）

総付与日数	総取得日数	対象職員数	平均取得日数	取得率
3,619日	1,039.5日	93人	11.2日	28.7%

◇その他の休暇

年次有給休暇以外に、病気休暇、特別休暇（夏季休暇、出産休暇、慶弔など）が認められています。

◇育児休業の取得状況

取得者0人

◇職員の健康管理

全職員を対象とした定期的健康診断、指定年齢健康診断を実施しています。

◇分限処分・懲戒処分の状況

分限	0人
懲戒	2人

●各種手当の支給状況（H26.4.1現在）

期末勤勉手当		期末手当	勤勉手当
	6月期	1.225月分	0.675月分
	12月期	1.375月分	0.675月分
	計	2.6月分	1.35月分

※職務の級等による加算措置（役職加算5～10%）有り

退職手当		自己都合	勧奨・定年
	勤続20年	21.62月分	27.025月分
	勤続25年	30.82月分	36.57月分
	勤続35年	43.70月分	52.44月分
	最高限度額	52.44月分	52.44月分
	1人当たり平均支給額	14,748千円（平成25年度に退職した全職員への支給額の平均）	

通勤手当	①交通機関利用者は運賃相当額（限度50,000円） ②交通用具利用者は2km以上に2,000円から22,000円の範囲で距離に応じて支給
扶養手当	配偶者：月額13,000円 配偶者以外：1人につき6,500円 ※配偶者のない場合…1人については11,000円 ※15歳～22歳の子の場合…5,000円を加算
住居手当	借家、借間は月額12,000円を超える家賃の額に応じて最高27,000円まで支給
管理職手当	課長級職員へ月額給料に4～5%を乗じた額
休日勤務手当	休日勤務した職員へ1時間当たりの給料単価に25%～50%を乗じた額
日直手当	日直勤務した職員への支給（1回4,200円）

時間外勤務手当（※）	区分	平成24年度	平成25年度
	支給総額	23,932千円	25,461千円
	職員1人当たり	169千円	186千円

※全職員を対象に計算

特殊勤務手当		
	支給総額（平成25年度実績）	28千円
	職員全体に占める手当支給職員の割合	5.1%
	支給対象職員1人当たり平均支給年額	3,957円
7種類	徴収手当、防疫作業手当、医師手当、往診手当 特殊自動車運転作業手当、夜間看護手当、用地交渉手当	

●定員適正化計画と年次別の進捗状況（表中の（　）は実績値）

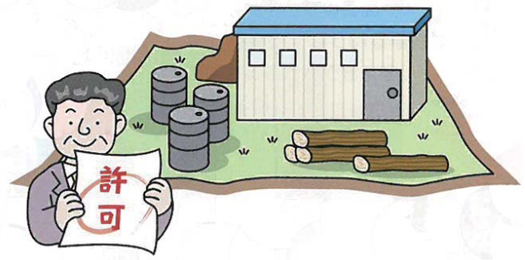
区分	平成15年【基準】	22年まで	23年【1年目】	24年【2年目】	25年【3年目】	26年【4年目】	27年【5年目】	目標値
減員【退職】	—	△51（△57）	△7（△7）	△16（△17）	△6（△11）	△6（△10）	△10	△45
増員【採用】	—	18（15）	5（5）	6（6）	4（7）	4（8）	4	23
差引	—	△33（△42）	△2（△2）	△10（△11）	△2（△4）	△2（△2）	△6	△22
職員数	198	165（156）	154（154）	144（143）	142（139）	140（137）	134	134

農業委員会だより

農地を農地以外に利用（転用）するときには、農地法による許可が必要です!!

農地に家や倉庫を建てたり、駐車場や資材置場として利用する場合は、工事を始める前に許可を受けなければなりません。農地ではないと思っている土地でも、地目が農地として残っている場合がありますので、必ず確認をしてください。

農地の転用を計画される場合、事前に各地区の農業委員または農業委員会事務局に相談してください。



許可なく転用してしまうと…

許可を受けないで農地の転用をした場合は、農地法違反となり、農地等の権利取得の効力が生じないだけでなく、県知事は工事の中止、原状回復などの必要な措置を命ずることができるほか左記のような罰則を適用する場合があります。

なお、違反転用については、農地法改正により県知事等による行政代執行制度が創設されました。（違反者に行政代執行の費用の負担が求められる場合があります）

無許可で転用した場合に適用されるおそれのある罰則

1.違反転用
　３年以下の懲役または３００万円以下の罰金（法人は１億円以下の罰金）

2.違反転用における原状回復命令違反
　３年以下の懲役または３００万円以下の罰金（法人は１億円以下の罰金）

※事業実施者の方へ
　工事着工の際には、農地法の手続き状況等について、ご確認くださるようお願いいたします。

農地台帳が公表されます！

農地法の改正により、平成27年４月から農地台帳情報の公表が義務付けられ、インターネットや窓口で農地の情報を見ることができるようになります。

○農地台帳って何？

農地台帳とは、軽米町内の農地について、所在、所有状況、耕作状況、農振法の区域区分等が記載されている台帳です。なお、農地台帳は、農地法により電子化が法定化されております。

○公表はどのようにされるの？

農地台帳の公表は、「インターネットによる公表」と「窓口による公表」があります。公表できる項目については、以下のとおりとなります。

【インターネットによる公表】
- 農地の所在、地番地目及び面積
- 貸借権等の種類、存続期間
- 農振法等の地域区分
- 農地中間管理機構が借りている農地かどうか　など

【農業委員会窓口による公表】

インターネットで見れる情報のほか、次のものは農業委員会窓口にて公表します。
- 所有者の氏名、名称
- 貸借人等の氏名、名称
- 耕作者の氏名、名称

※所有世帯員以外の方が公表申請する場合は、手数料が必要となります。

・少子高齢時代に強い年金です

平成14年からスタートした、積立方式のいわゆる「新農業者年金」は農業者の方であれば広く加入でき、自分が積み立てた保険料と、その運用実績により年金額が決まる確定拠出型の年金です。

・農業者の方なら広く加入できます

加入要件は、国民年金の第一号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の方です。（農地を持っていない方でも加入できます。）

・保険料の額は自由に決められます

月額２万円から６万７千円までの間で、千円単位で自分で決めることができます。また、保険料の見直しや脱退は自由です。

・終身年金で80歳までの保障付き

年金は生涯支給されますが、仮に受給者が80歳前に亡くなった場合でも80歳までに受け取るはずであった農業者老齢年金相当額が死亡一時金として遺族に支給されます。

・公的年金ならではの税制上の優遇措置があります

支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税効果につながります。

・農業の担い手には国の政策支援があります

認定農業者で、青色申告をしているなど、農業の担い手となる方には国から月額最高１万円の保険料補助があります。

購読しませんか？

全国農業新聞

「暮らしと経営」に役立つ情報をお届けします。農政の動きのほか、農業に関する最新技術、全国各地で活躍する農業者のアイディア、地域のイベント等農業に役立つ情報を紹介しています。

購読の申し込みなど詳しくは、地域の農業委員または農業委員会事務局までお問い合わせください。

【問い合わせ先】町農業委員会事務局（☎４６－４７３９　内線２１５）

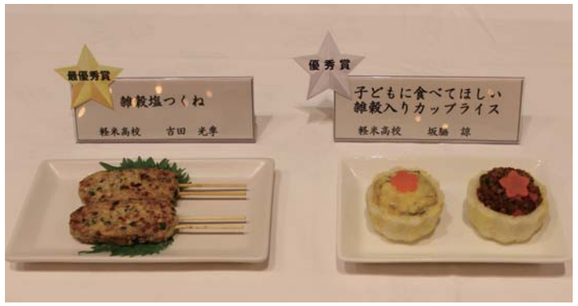
平成２６年度二戸地域雑穀推進大会

古舘芳規さんがブランド推進大賞受賞
軽米高校の吉田さん、坂脇さんは料理コンクールで入賞

二戸パークホテルで１月21日に開催された平成26年度二戸地域雑穀推進大会の中で、『第７回二戸地域雑穀ブランド推進大賞』の表彰が行われ、古舘芳規（よしのり）さん（上谷地渡）が、葉たばこ、大豆、雑穀の輪作体系を確立し、安定的な収量の確保と品質向上に努めたことが認められ受賞しました。また、『カシオペア連邦高校生雑穀料理コンクール2014』で軽米高校の吉田光季（みつき）さんが最優秀賞に、坂脇諒（りょう）さんが優秀賞に輝きました。吉田さんの作品のレシピを以下に紹介し、全ての入賞者のレシピは町のホームページ（アドレスは最終ページ記載）に掲載します。

（上写真左から）受賞した古舘さんの妻恵美子（えみこ）さん、吉田さん、坂脇さん

（下写真左から）吉田さんの作品『雑穀塩つくね』と、坂脇さんの作品『子どもに食べてほしい雑穀入りカップライス』



雑穀塩つくね（４人分）

- たかきび粒…40グラム
- とりひき肉…400グラム
- 貝割れ菜……１パック
- 長ネギ……１本
- 白いりごま…小さじ２
- 塩……小さじ１
- みりん　…小さじ２
- こしょう…少々
- サラダ油…大さじ２
- 大葉……８枚

作り方

①たかきびを煮ておく。
②貝割れ菜とねぎをみじん切りにする。
③ボウルにひき肉、①、②、塩、みりん、こしょうと白ごまを入れてよく練り混ぜる。手に薄く油を塗り、８等分して平たい棒状に形作り、竹串を２本ずつ刺しておく。
④フライパンに油を入れ、③を４つ並べて火にかける。約３分30秒、上下を返して約２分焼く。
⑤皿に大葉を敷き、焼けたつくねを盛り付けて完成。

公衆衛生功労者等表彰
坂上悦子さんが県会長賞

盛岡市で平成26年12月18日に開かれた平成26年度公衆衛生功労者等表彰式の中で、坂上悦子（えつこ）さん（和当地）が岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会会長表彰を受けました。「このような賞をいただいたことで、食生活改善推進員の活動がより広く認知されてくれるとうれしい」と語った坂上さん。平成４年から町食生活改善推進員として活動し、平成16年から22年までは同推進協議会の副会長として会員の育成に尽力されています。

子ども会卓球大会結果

第44回町子ども会卓球大会が１月11日、町民体育館を会場に開催されました。町内18チーム121人が参加し、熱戦を繰り広げました。

■チャンピオントーナメント（予選１位組）
【Ａ】①**サークルジュニア**　②山内
　　③笹渡連合Ａ
【Ｂ】①**笹渡連合Ｂ**　②ますにゃん
　　③野場エンジェルスＡ
■チャレンジトーナメント（予選２位組）
【Ａ】①６ファイナル
【Ｂ】①雪谷川ハリケーン
■ほのぼのトーナメント（予選３位組）
【Ａ】①米田スマッシュブルズ
【Ｂ】①高横子供会

平成２７年
町消防団出初め式

町役場から徳楽寺までの分列行進の先頭を進むラッパ隊の演奏。

町消防団（山舘松五郎（まつごろう）団長、団員４４６人）の平成27年出初め式が１月３日、役場駐車場で開催されました。団員約２６０人と町婦人消防協力隊連絡協議会（松山美子（よしこ）会長）の隊員約20人が参加。消防団関係者への表彰のほか、観閲や機械器具点検が行われました。また式典後には、団員らが役場から徳楽寺まで堂々とした分列行進を披露し、町民に火の用心を訴えました。

団長訓示

平成27年の輝かしい新春を迎え、心からお喜びを申し上げます。

昨年、本町では６件の火災が発生しました。幸いにして、大規模な災害は発生しませんでした。地域の安全、安心は住民の最も基本的な生活の基盤です。私たち消防団・協力隊は、その安全、安心を保持するため、教養・訓練に励み、予防活動を強化し住民の皆様の負託に応えなければなりません。

今年こそ、火災ゼロの目標が達成されるよう、団員・協力隊員の皆様には、さらなるご精進をお願いいたします。

◆皆さんの地域の話題や情報をお待ちしています。
総務課広報担当（☎４６－２１１１・内線２０６）までご連絡ください

町内選手が多数優勝

第37回軽米町長杯卓球大会

第37回軽米町長杯争奪卓球選手権大会が２月１日、町民体育館で行われました。小学生から大人まで町内外の選手およそ200人が参加し、熱戦を繰り広げました。地元の意地を見せ、町内選手の活躍が目立ちました。各部の優勝選手は以下のとおりです。

【ホープスミニ（小学４年生以下）の部】
男子：野中大地（軽米小３年）　女子：向屋敷萌（小軽米小４年）
【ホープス（小学５・６年生）の部】
男子：屋敷大（小軽米小５年）　女子：長者森ひより（晴山小５年）
【カデット（中学１・２年生）個人の部】
男子：大下大輝（軽米中２年）　女子：田代明莉（軽米中１年）
【カデット（中学１・２年生）団体の部】
男子：軽米中学校　女子：軽米中学校
【アマチュア（一般初心者）の部】
男子：板橋義男（下新町）　女子：屋敷和子（笹渡）
【一般（中学３年生・高校生・一般）の部】
男子：木村稔（九戸村）　女子：佐藤美希（観音林南）

（写真上左から）ホープスミニ、ホープス優勝の野中くん、向屋敷さん、屋敷くん、長者森さん（写真下）カデット団体の部で男女優勝の軽米中学校卓球部と個人の部優勝の田代さん（下段左端）、大下さん（同右から３人目）

思わず座り込んで読んでしまいます

古くなった本、さしあげます！

雑誌リサイクル会

町立図書館での保存期間が過ぎた雑誌を利用者に無料で提供する雑誌リサイクル会が１月 28 日、図書館隣の蔵で行われました。蔵の中には料理や園芸、健康についてなど様々なジャンルの本がズラリとおよそ 700 冊。訪れた 47 人の来場者は、目当ての本を探しページをめくりながら、お気に入りをじっくりと吟味していました。残っている雑誌は当日来場できなかった方に随時提供するということなので、ぜひ足を運んでみては？

滑る前にはしっかりと体操を

冬ならではのスポーツ

スキー教室

町教育委員会主催の少年少女スキー教室が１月８日、９日に安比高原スキー場で開催されました。町のスキー協会員の講師らは、レベルに合わせてグループごとにじっくりと指導。初めてスキー場に来たという子どもも２日間の間に、転ぶことなくゲレンデを滑れるようになりました。また、小学３年生から大人までを対象に開催した町民スキー教室には、親子連れの姿も見られ、冬ならではのスポーツを楽しんでいました。

町長に交通安全への決意を述べる永井隊長

住みよい町を目指して

交通指導隊・防犯隊初点検式

町交通指導隊（永井美保子隊長）と町防犯隊（山舘松五郎隊長）の合同初点検式が１月６日に役場庁舎前で行われました。それぞれの隊員合わせて９人が出席。服装や警笛、隊員手帳などを点検し、町長と日山一夫町防犯協会長から確認を受けました。永井隊長は「飲酒運転根絶と交通事故のない明るく住みよい町を目指す」と決意を表明。また、山舘隊長は「犯罪のない、安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けて一層努力する」と誓いました。

笑顔あふれる文化芸能

春の芸能まつり

軽米芸能愛好会（小林一郎会長）が主催し、今年で18回目を迎えた春の芸能まつりが１月25日、町農村環境改善センターで開催されました。町内外から延べ33組が出演し、美しい歌声や華麗な踊りを披露すると、会場を訪れた200人を超える観客たちからは盛大な拍手が起こりました。なお、このイベントは花の新舞踊チャリティショーとして開催され、入場料など収益の一部は町社会福祉協議会に寄付されています。

美しい踊りに会場は拍手に包まれました

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

音更高校開放講座の「小学生冬休み書き初め講座」が開かれ、２１人が参加しました。参加した子どもたちは、野坂武秀先生のアドバイスのもと、音更高校書道部の生徒の補助を受けながら、全身を使って力強く文字をしたためていました。

気持ちを込めて筆始め

一人一人、丁寧な指導を受けました

冬休みに学習のまとめを

中学生ウィンター学習会

町中央公民館で１月６日から９日まで４日間にわたり行われた『中学生ウィンター学習会』（町教育委員会主催）に、軽米中学校の生徒述べ292人が参加しました。町の学習支援員のほか、青森県家庭教師ネットワーク八戸事務局から５人の講師を招き、数学と英語の２教科を重点的に復習しました。参加した生徒らは、積極的に手を挙げて個別の指導を受け、理解を深めていました。

笑顔あつまれ！　みんなの広場

キラキラ光る

小笠原　勝幸（かつゆき）さん
（23歳、岩崎）
身長175センチ、B型
ＪＡ新いわて軽米地区担当課

今の仕事を将来に活かしたい！

小笠原さんは高校を卒業後、実家の農業を手伝いながら、ＪＡ新いわて軽米地区担当課の臨時職員として働いています。

Q、自分の性格を一言で言うと？
　おおらかですかね。
Q、今の職業を選んだ理由は？
　家が農家なので、農業に携わる仕事をしたいと思いました。実際にやってみると、現場に出たり事務の仕事をしたりとやることがたくさんあって大変です。
Q、趣味や休日にやることは？
　趣味は釣りです。休日は釣りやドライブに出かけます。
Q、あなたの夢は？
　農協でいろいろなことを勉強して、将来的には実家の農業を継ぎたいです。
Q、町をどう思いますか？
　自然が豊かだと思います。
▼好きなスポーツ…サッカー、柔道
▼好きな色…緑
▼好きな花…桜
▼好きな食べ物…肉
▼好きな映画…洋画全般
▼今欲しいもの…いっぱいありすぎて1つに決められません。
▼理想の異性のタイプ…引っ張って行ってくれる人がタイプ。芸能人だと米倉涼子さん。

今月の俳句（北光吟社12月例句会）

掘炬燵（ほりごたつ）向き合う母に白髪増え　川崎　郁子
大荒れの予報当りし師（しわす）走かな　中野　とき子
通院の月日（つきひ）重ねて年暮るる　三上　千栄女
疲れし身沈め一息柚子（ゆずゆ）湯かな　中田　紀子
顔ほどのりんごをむいて渋茶（しぶちゃ）のむ　早川　慶子
音もなく降り積む雪の重さかな　川島　由蔵
ひょうたん島残る被災の冬の海　千葉　紅園
泰然（たいぜん）と動かざるもの山眠る　松村　英子
いつも場所決めおり犬の日向（ひなた）ぼこ　千葉　ふみ子
短日（たんじつ）や窓のあかりの針仕事　丹下　美恵子

※町文化協会「北光吟社」の例句会より俳句を紹介しています

夢は4番打者

「2アウト満塁、2ストライク3ボール。バッターは井戸渕です。」
「ピッチャー投げました。打ったー。サヨナラ逆転満塁ホームラン。」
ぼくの将来の夢は、プロ野球の選手です。ぼくは野球が大好きで、野球のスポーツ少年団にも入っています。好きな選手は、楽天イーグルスの銀次選手とメジャーリーガーのイチロー選手です。銀次選手のあきらめないで楽しくプレーしている姿や、強肩のイチロー選手がレーザービームで走者をアウトにする姿にあこがれています。
ぼくは、東北楽天イーグルスの4番打者になりたいです。それも、1試合にホームランを3本も打つことがあるような強打者です。
その夢をかなえるために、ぼくは、父さんと日曜日にバッティングの練習をしています。父さんは「腰を回せ」と教えてくれます。ぼくは、そこに気を付けてバットをするどく振ろうと頑張っています。何回やってもうまくいかないことがあるけれど、銀次さんのようにあきらめないで練習を続けています。
ぼくは、夢をかなえたら、プレーでみんなを元気づけて幸せにしたいです。

■夢・希望・えんぴつ■

小軽米小学校　5年
井戸渕　拓巳（たくみ）くん
（屋　敷）

軽米の埋もれし宝 74
～最新の発掘されし宝⑩ 千本松遺跡～

ハートフルスポーツランドから500ｍほど山田地区へ進むと左手にそびえ立つ、町指定天然記念物の巨木「山田の千本松」の雄姿をご存知の方は多いかと思いますが、この千本松のある尾根の広い平坦面に、不自然な石が多数存在することはご存知でしたか？
広報かるまい昭和49年6月号の記事によると、大正時代にはストーンサークル（一般的には石を組んで正円形に並べたものとされる）があるとの言い伝えがあったそうで、同年に行われた試掘調査で、大小様々な石を直径11ｍの円形に並べたストーンサークルが軽米町で初めて発見されたと報じられています。
しかし、当時の記録が乏（とぼ）しく実態が不明であるため、町教育委員会で3ヶ年の調査計画を立て、平成26年は11月より1ヶ月間の内容確認調査を行いました。すると直径約15ｍの範囲に、川原石ではなく尖（とが）ったり角張（かくば）ったりした周辺には無い石を大小約260個ほど何処（いずこ）かから持ってきて並べた、縄文時代の環状配石（かんじょうはいせき）遺構であることが明らかとなりました。
配石の特徴としては、中心部は石がまばらで、直径11ｍの円周上に長径1～1．5ｍ、高さ30～50ｃｍ超の大きな石が4個、等間隔（とうかんかく）に置かれ、その周辺に大小の石が特に目立った規則性はなく並べられています。また、畳（たたみ）一枚より広い平らな巨石（きょせき）や立石（りっせき）などの特殊な石の配置も見られることから、お墓や祭祀（さいし）を行う特別な広場であった可能性が考えられます。
所謂（いわゆる）「ストーンサークル」とは異なるようですが、町では唯一の特殊な配石をもつ遺跡として、大変貴重な発見となりました。
（教育委員会学芸員　藤田直行）

大きな石が点在する軽米町千本松遺跡の配石遺構

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所（☎４６－２００４）

～特殊詐欺の被害に遭わないために～

■岩手県における特殊詐欺の特徴

①６５歳以上の高齢者が被害に遭うケースが非常に多いですが、町では若い方も被害に遭う寸前まで行ったケースがあります。
②町では携帯電話のメールによる架空請求詐欺未遂が増えています。
③新たな手口の増加
「必ずもうかります」「〇〇くじの当選番号を教えます」などです。

■被害に遭わないための注意点

《一人で判断せず、誰かに相談》

- 「ハッキリしない請求」は無視してまず相談
- 「お金を借りるのに先に保証金を払え」は詐欺
- 「お金を返すからＡＴＭへ行け」は詐欺
- 「電話番号が変わった」という電話は詐欺
- 「必ず儲かる」は詐欺
- 「宝くじの当選番号を教えます」は詐欺

■「おかしい」と思ったら．．．

すぐ１１０番通報や、二戸警察署（☎２９－０１１０）または、軽米駐在所（☎４６－２００４）、晴山駐在所（☎４７－２１１０）小軽米駐在所（☎４５－２１１０）の各駐在所まで相談をして下さい。

12月の事故と救急の数字

▶町内の交通事故、救急車出動回数

	当月	累計	昨年比
人身事故	１件	７件	＋１
死亡者	０人	０人	±０
負傷者	１人	７人	＋１
物損事故	13件	139件	－11
救急車出動回数	39回	441回	+46

※（累計）は１月からの合計です。見直しにより前月の数値と異なる場合があります

▶12月の飲酒運転検挙者はありません
▶平成26年中の町の飲酒運転検挙数は７件（内町内居住者５人）でした

目指そう！はつらつ人生

地域包括支援センター（☎４６－４１１１）

はつらつ教室（運動編）開催！

花の里かるまいで１月15日に『はつらつ教室（運動編）』が開催されました。

はつらつ教室（運動編）は、健康診査の申し込みに同封している基本チェックリストの結果で対象となった250人の中から参加希望者を募り実施している教室です。木曜コースと土曜コースに分かれて12月中旬から２月中旬までの週１回ずつ計10回受講します。

講師は、介護老人保健施設「花の里かるまい」の作業療法士の先生方です。

教室参加前後に健康チェック（血圧測定、問診）を行い、リズム体操（音楽に合わせて体操）やボール遊び（ボールを使った運動や体操）など筋力を高める体操や運動を行っています。また、１回目と９回目には、参加者一人ひとりの体力も測定します。この教室は参加者の体調に合わせて行うため、無理なく簡単に行うことができます。参加者からは、「毎回参加するのが、楽しみ。」

ボールを使って楽しく運動しました

「筋力アップしていたらいいな。」などの感想が聞かれています。教室参加がきっかけで仲間づくりにもつながり、運動や体操の意欲が高まりとても良い介護予防の機会となっています。

教室は他に「こころの健康づくり編」があり、軽米中央公民館や晴山公民館、米田農業構造改善センターで随時行っています。

詳しくは、軽米町健康福祉課地域包括支援センター（☎４６－４１１１　※健康ふれあいセンター内）までお問い合わせください。

文夫に育つ　元気に働く　健やかに過ごす

健康福祉課（☎４６－４１１１）

ぐっすり眠れていますか？

健康福祉課
保健師長
日向　安子

特定健診の時に行った、睡眠で休養が充分とれているかという質問に、軽米町では約２割の人が休養が充分とれていないと回答。

国が示した「健康づくりのための睡眠指針2014」世代別のポイントは次のとおりです。

子ども若者世代：休日もなるべく同じ時間に起床する。寝床に入ってから携帯電話の操作やゲーム等をしない。

働き盛り世代：忙しくても疲労回復のため睡眠時間を確保する。30分以内の昼寝は能率アップに有効。日中に強い眠気を引き起こす睡眠時無呼吸等のある人は治療する。

高齢者世代：一般的に年を重ねると必要な睡眠時間は短くなる。長時間寝床で過ごさない。起きる時間は遅らせない。

※疲れているのに眠れない、早朝に目が覚めて眠れない、充分な休養感が無いなど、不快な睡眠が２週間以上続く場合は自分からのSOSです。人に話したり、受診をするなど、辛い気持ちを一人でかかえないでください。保健師も話を伺います。

図書館だより

町立図書館（☎４６－４３３３）

今月の図書館ひろば

日時：２月22日 10：00～11：00　対象：幼児
場所：図書館となりの蔵　小学校低学年

ー今月の新刊ー

【児童書】

こめかくし

（文溪堂）

作/高田桂子　絵/杉浦範茂

つめたい夏がつづき、不作で食べものが足りない。村人はやせこけているのに、寺のおしょうだけはふくふく顔だ。村人たちは、おしょうが米を隠していると思ったのだが…。

東京駅をつくった男

（くもん出版）

著 / 大塚菜生

赤いれんがに白い花こう岩の帯が特徴的な駅舎。たくさんのアイデアを盛り込み、東京駅を設計したのが辰野金吾です。日本の近代建築を切り開いた建築家の人生を紹介します。

【一般書】

軽トラックパーフェクトマニュアル

（地球丸）

軽トラは、想像をはるかに超える楽しい遊び道具！軽トラを使いこなしている人たちを紹介するほか、軽トラの選び方や最新カタログ、DIYカスタム、オフロード走行術などを掲載。

自滅

（KADOKAWA）

著/柴田よしき

現代に生きる女性たちの日常にふと生まれる恐怖を、情感豊かに描いた極上のサスペンス・ホラー短編集。切なさに心を揺さぶられる、５つの物語。

（広告スペース）

そばは身体にやさしい食べ物です
（血圧・血糖値など）
そしておいしい！
ダッタンソバ、ダルマソバ、そば
かっけを沢山食べましょう!!
雑穀弁当・仕出し・宴会
食事処 内まる屋（TEL４６－２３１８）

仕出し 御膳 味彩（あじさい）
お膳・折詰・弁当・オードブル
お祝いごとやご法事等に
お気軽にお電話ください
☎４６－３６８０　手造りの店 味彩（あじさい）

※広報かるまいでは、町内の業者などからの広告を掲載しています

町のこよみ・かるまいカレンダー

2月　February

16	月	
17	火	夜の健康教室【ふ】18：00～
18	水	１歳児健診【ふ】13：00～13：30受付 介護者のつどい【防災センター】13：30～
19	木	
20	金	
21	土	図書館ひろば【図】
22	日	休日と夜間の納税相談【税務会計課】（～24日）
23	月	
24	火	教育相談【公】9：00～15：00 はつらつ教室【米田農業構造改善センター】
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	

3月　March

1	日	
2	月	糖尿病予防教室【ふ】13：30～ 町税の納期限（固定資産税第４期、国民健康保険税第８期）
3	火	
4	水	**乳児健診【ふ】13：00～13：30受付**
5	木	
6	金	
7	土	観光と物産キャンペーン【八戸市・ラピア】10：00～18：00
8	日	観光と物産キャンペーン【八戸市・ラピア】10：00～18：00
9	月	
10	火	はつらつ教室【公】10：00～11：30、【晴山出張所】13：30～15：00
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	

（カレンダー中の【　】は開催場所で下記のとおり表示します）
体:町民体育館　環:農村環境改善センター　公:中央公民館
図:町立図書館　病:県立軽米病院　ふ:健康ふれあいセンター
老:老人福祉センター　フ:雪谷川ダムフォリストパーク・軽米
ミ:ミレットパーク　歴:歴史民俗資料館　ハ:ハートフル・スポーツランド　運:町営運動場　ゲ:ゲートボール場

スナップ写真館

軽米町肉の日給食会
（１月29日、軽米小学校）

今日のメニューは、さるなしジャムパン、ビーフシチュー、オムレツ、ひじきとこんにゃくのサラダ、パンプキンプリン、牛乳。

プレートの上には、見るからにおいしそうなメニューが並びました

大きくて柔らかいお肉に思わず
「お、美味しい！」

生産者の菅波敏さん（上舘）から、
牛についてのお話を聞きました。

生産者、調理師、食材、みんなに
「ごちそうさまでした」

お知らせ情報 Information

もっと知ろう みんなの国民年金

こんなとき、届出が必要です

国民年金は、日本に住む20歳以上60歳未満のすべての人が加入する制度です。届出は加入するときだけでなく、次のようなときにも必要です。もし、届出をしなければ年金額が少なくなったり、受けられなくなる場合がありますので、忘れずに届出をしましょう。

○20歳になったとき（厚生年金や共済年金加入者を除く）
○会社を退職したとき（厚生年金や共済年金加入者の場合）
○配偶者に扶養されていたが、配偶者が厚生年金、共済年金を辞めたとき

詳しくは、二戸年金事務所（☎２３－４１１１）、役場町民生活課（☎４６－４７３４）にお問い合わせください。

内科(9:00～17:00)　休日当番医　歯科(9:00～12:00)

おりそ内科循環器クリニック（☎22-2251）	二戸市福岡	２月22日（日）	国香歯科医院（☎23-2764）	二戸市石切所
小野寺クリニック（☎46-2822）	軽米町門前	３月１日（日）	国香歯科医院（☎23-2223）	二戸市福岡
松井内科医院（☎33-2201）	一戸町一戸	８日（日）	渡辺歯科医院（☎23-2052）	二戸市堀野
管整形外科皮膚科クリニック（☎23-7311）	二戸市石切所	15日（日）	岩渕歯科医院（☎32-2238）	一戸町一戸

二戸消費生活センター 消費生活相談のご案内

３月の相談日は次のとおりです。（相談無料、要事前予約）

◎法律相談
３月10日（火）、24日（火）
10時～15時

◎お金と暮らし相談
３月13日（金）10時～16時

◎多重債務相談
３月17日（火）10時～15時

※場所：二戸消費生活センター

【申し込み・問い合わせ先】二戸消費生活センター（☎２３－５８００）

「地域での理想的な看取り」を考える公開講座

■日時：３月12日(木)
18：30～20：30
■場所：
二戸市シビックセンター
■内容：講演
「暮らしの中で逝くこと」
～かあさんの家の実践から～
NPO法人ホームホスピス宮崎理事長　市原美恵
■参加料：無料
【申し込み・問い合わせ先】二戸保健所管理課（☎２３－９２０６）

東北地区国立大学法人等職員業務説明会

■日時：３月８日（日）
10：00～16：00
※入退場自由
■場所：東北大学　川内北キャンパス　講義棟Ａ
■その他：一部の内容では予約が必要です。同採用試験実施委員会ホームページ（http://www.bureau.tohoku.ac.jp/shiken/）から申し込みが可能です。
【問い合わせ先】東北地区国立大学法人等職員採用試験事務室（☎０２２－２１７－５６７６）

二戸地域保健福祉活動実践報告会

■日時：３月10日（火）
13：00～16：00
■会場：二戸市シビックセンター
■内容：
・講演
講師　東北福祉大学総合福祉学部教授　都築光一氏
・ステップアップ交流会の報告
【問い合わせ先】
二戸地区広域行政事務組合（☎２３－７７７２）

陸上自衛隊岩手駐屯地音楽隊定期演奏会

■日時：３月14日（土）
開場14：15、開演15：00
■場所：盛岡市民文化ホール（マリオス）大ホール
■出演：岩手駐屯地音楽隊、巌鷲太鼓、駐屯地らっぱ隊、（友情出演）第９音楽隊、秋田駐屯地音楽隊
■その他：入場無料、事前の整理券は発行いたしません。先着入場で、満員になりしだい入場をお断りしますのでご注意ください。
【問い合わせ先】陸上自衛隊岩手駐屯地司令業務室（☎０１９－６８８－４３１１（内線２５６））

多重債務相談

相談は秘密厳守・無料でお受けします。お気軽にご相談ください。

■日時　月～金曜日（祝日を除く）8：30～16：30
【問い合わせ・相談先】東北財務局盛岡財務事務所（☎０１９－６２２－１６３７）

（広告スペース）

※広報かるまいでは、町内の業者などの広告を掲載しています

スーパーマーケット
ユニバース軽米店
営業時間 朝9時～夜22時まで
町民バス・コミュニティバスご利用の際は、「むらかみ医院」バス停ご利用が便利！
軽米町大字上舘15地割100-1
TEL 0195-46-3911

（広告スペース）

広報
かるまい2
平成27年
2月号
(No.671)

表紙のことば

新春の歓び　～走り初め～

第28回軽米町元旦マラソン（町体育協会、町陸上競技協会主催）が1月1日に町中心部の特設コースで行われ、町民ら約80人が参加しました。スタート時点では晴れていた天気も競技中はあいにくの雪に。それでも参加者たちは1周約600㍍のコースを元気よく周回し、マラソン後には毎年恒例のもちつきや抽選会が行われるなど、最後まで大盛り上がりの様子でした。

（写真上）新春の町中を駆け抜けました。
（写真下）自分たちでついた餅を食べ、体の中から温まりました。

冠婚葬祭　12月分
＜敬称略＞

おめでた
（　）内は父母の名

門前	花田　楓（かえで）	（達也・春香）
蓮台野	高屋敷　奏介（そうすけ）	（真悟・洋子）
高柳	畏主　陽友（はるとも）	（豊・里美）
上尾田	中里　奏翔（かいと）	（健吾・未稀）

おくやみ
（　）内は享年

外川目	外川　ヤエ	（94歳）
車門	茶屋　政吉	（97歳）
下新町	日向　由太郎	（95歳）
向川原	舘下　ナミ	（78歳）
和当地	下谷地　キヨ	（87歳）
山内大久保	中下　芳男	（64歳）
蓮台野	山下　ノブ	（101歳）
米田	山本　明宏	（31歳）
上谷地渡	山田　スワ	（83歳）

●人の動き
＜平成26年12月31日現在／町民生活課調べ＞

男	4,868人（－4）／	女	5,100人（－5）
合計	9,968人（－9）／	世帯数	3,779（－3）

※（　）は前月比

転入	8人（177人）／	転出	12人（268人）
出生	4人（47人）／	死亡	9人（148人）

※（　）は1月からの累計

※広報誌内において、お名前が俗字であっても正字で記載される場合がありますので、ご了承ください。

ほっとひといき／編集後記

軽米高校の生徒が料理コンクールで最優秀賞、優秀賞に輝きました。2人のコメントから、家族や子どもなど、食べてもらいたい相手をイメージして作ることが美味しさの秘訣なのだろう、と感じました。

町民意識調査に回答いただいた皆さま、ご協力ありがとうございます。かるまいテレビに対する意見の中には、広報に通じるものもたくさんありました。今後も、伝わりやすく、多くの人に読んでいただける広報づくりを目指します。（小笠原）

発行／岩手県軽米町　編集／総務課
〒028-6302　九戸郡軽米町大字軽米10-85
電話　0195-46-2111(代)
FAX　0195-46-2335
ホームページ　http://www.town.karumai.iwate.jp/